

# 自分を知り、 進路選択について考えよう

## 1

## 同世代の中学生の進路選択から学ぼう

中学は、進路を決める重要な時期です。  
同世代中学生の進路選択から学びましょう。

### 「命を守る」

「チャンネルワン、応答せよ。」今年の防災訓練で、4階の音楽室のベランダで救助を待つ生徒を、レスキュー隊が救い出す迫力ある救出訓練が、特に印象に残った。今までは、消防自動車を通るたびに、漠然と「カッコいいな」「あんな職業に就きたいな」と友だちや親に相談してみると、いつも「女だてらに」とか「女には無理だよ」と真剣にとりあってもらえなかった。

今年から、学校の防災訓練が体験型に大きく変わり、「阪神・淡路大震災」のビデオを見たり、被災者の手記を読んだりしているうちに、いつもより訓練への真剣みが増したように思える。

そして何より、レスキュー隊の訓練された迅速な動きと、一糸乱れぬチームワーク、「命を守る」という崇高な使命感を持つ隊員の姿がまぶたに焼きついて離れない。進路調査の「希望する職業名」に、思い切って「消防隊員またはレスキュー隊員」と書いた。今年の防災訓練での体験を熱く家族に話すと、「そうか。命を守るには、男も女もないか…」といつもとは異なる意見を聞くことができた。

翌日、勇気を出して担任の先生に初めて相談してみた。「そうか。正義感が強いから向いているよ。」と励まされた。自分のやりたいことが見えてきて、今はうれしきで一杯だ。自分にあつた進路選択を周りの人からも認められたことは、何よりもうれしい。

危険な仕事であることは分かっているが、心と体を鍛えることで、立ち向かっていけると思う。

自分の目標がはっきりして、周囲も仕事について考え始めた気がする。なんていったって、性別によらず、自分らしさを生かすという視点からやりたいことを見つけることができれば、職業の選択幅がぐっと広がってくる。職業に性別はない。

いつか母校の訓練に、指導者として参加したいと私の夢はふくらむ。

(韮山町立韮山中学校3年 宮下典奈)

◆宮下さんの進路選択を通して、あなた自身の進路について考えてみましょう。

.....

.....

.....



## 2

## 先輩たちの生き方に学ぼう

4人の先輩に、仕事のことや学生時代の進路選択について伺いました。  
人生には様々な生き方があります。先輩の進路選択に学びましょう。

## 目的意識を持ち、後悔しない選択を

## 「岩野さん」

物質工学を専攻し、化学や生物などを学んでいます。中学生のころ、将来は人の命を助けるための薬品開発に携わりたいと思い、他の学校と違って早くから専門の勉強ができる、現在の進路を選択しました。高校を選ぶのは人生の分かれ目、皆さんには、自分の将来を見据えて、後悔のないよう選択してほしいと考えています。

## 「今村さん」

岩野さんと同じコースを専攻し、講義や実験などを通じて多くのことを学んでいます。小学校の頃から地球温暖化などの環境問題に興味があり、将来は環境に関する仕事をしたいと思っていたので、関連する分野の勉強ができる現在の学校への進学を決めました。理系専門校なので、周囲から「女の子なのに何しに行くの」と言われましたが、自分の目標があったので迷いはありませんでした。目的意識を持って勉強することはとても楽しいです。皆さんにも、自分のやりたいことに向けて努力を重ねてほしいと思います。



理系高校  
在学  
沼津市

いわの  
岩野あずさ さん  
しまむら さとみ  
今村聡美 さん

## 様々な経験から進路選択を

電子楽器や音響機器などの製造会社で、電子看板などの映像創出機器の製品開発に携わっています。関連技術の進歩は速いので、常に最新の情報を入手しながら、良い製品が開発できるよう研究を重ねています。

中学・高校生の頃は物理学者になりたいと思っていましたが、大学時代に「自分の好きな音楽を通じて、人に夢とゆとりを与えるモノづくり」をしたいと考え、今の仕事を選択しました。

現在、夫婦で共に働きながら協力して子育てをしています。2人目、3人目の子供が生まれて間もない頃には、自分が育児休業を取得し、会社を休んで子育てに専念しました。

仕事や育児・家事に忙しい毎日ですが、夫婦が共に支えあって生活をしていくことは、とても大切なことだと考えています。

皆さんには、今しかない普段の中学校生活を楽しむとともに、様々な経験を重ねながら自分の進路について選択してほしいと思います。



エンジニア  
細江町

まるやま やすひろ  
丸山泰弘 さん  
とご家族の皆さん



## 専門職としての資格が大切

介護福祉士として、老人ホームで介護の仕事をしています。

私は、人とかかわりが好きで、学生時代、介護のボランティア活動にめぐり合い、打ち込みました。

介護の仕事は、ボランティアで続けていくつもりでした。しかし、私たちの個性は一人一人異なり、つきあい方が違うように、介護を必要とする方への「つき合い方」も違って当然だと思いました。そのためには、専門的な介護の知識や実践が必要で、介護福祉士の国家資格を取ることのできる進路選択をしました。資格を取る過程で得た知識や実務経験は、現在の仕事をするうえで、大きな自信になっています。

皆さんが社会に出る頃には、ますます高齢化が進み、介護や福祉の専門家が必要となります。介護の現場は日々変化しています。人間が好きでなければできない仕事ですが、専門的な知識や技能を身につけるための資格も大切であることを、皆さんの進路選択の参考にしてほしいと思います。



介護福祉士

静岡市

おおき ひでかつ  
大木英且さん

## 視野をもっと広げよう

旅行代理店で、旅行プランの説明や航空券、海外旅行の販売等をしています。

小さい頃から外国に興味を持ち、テレビに映し出される世界を自分の目で実際に確かめたいと思っていました。そんなこともあり、中学では一生懸命英語を勉強しました。ALTに通じたうれしさは、今でも忘れることができません。

大学卒業後、青年海外協力隊員として、中国内蒙古自治区の日本語学校で、2年間日本語を教える経験をしました。いろいろな人と出会い、海外生活でなければ味わえない感動や旅の楽しさを他の人にも伝えられたらと思い、今の仕事を選びました。

帰国後の就職については、不安もありましたが、青年海外協力隊に行き、本当によかったと思っています。旅行について、お客様に自信をもってお話しできるのは、2年間の海外での経験のおかげです。

視野を広げる経験は、進路選択にとっても役立つことだと思います。



旅行代理店

勤務

三島市

かざま ちえ  
風間智絵さん

◆先輩4人の進路選択と生き方を通してヒントになることを考えましょう。

.....

.....

.....





## ●身近な5人の進路

◆身近な5人の職業・進路選択について伺ってみましょう。

	今就いている仕事内容	進路選択のきっかけ	今の仕事に就くために努力してきたこと
Aさん			
Bさん			
Cさん			
Dさん			
Eさん			

◆調査した身近な5人の進路選択を通して、あなたはどのようなヒントを得ましたか。まとめてみましょう。

.....

.....

.....

### 息子の選択

2年前、小学4年だった息子が選んだクラブは『編物』でした。  
「えっ?編物?」大きな驚きと少しの軽蔑を含んだその言葉に、  
彼は一言「おもしろそうだったからさ」と答えました。

なんと明快なこと…

私は自分の懐の狭さを恥じ、色眼鏡を外してくれたことに感謝し、見習いたいものだと思いました。それから男女にかかわることなく、自分らしくいられる場所を見つけている姿に、「男女共同参画」の原点を見せてもらっているような気がしています。

佐藤はる美(静岡市)平成14年短文コンテスト受賞作品

【ちよひや息③】



# ●進路選択にはいろいろなきっかけがあります。

女性が少ない海の仕事の分野にチャレンジした  
永田留美さんと中川幸子さんの進路選択から学びましょう。

## 女ing

### 最後のチャレンジャー⑦

#### 第6部

「スーパーにブリを売り込んだ時、『あんた魚のことをなにも知らない。帰れ』と怒られた」

そう話す永田留美さん(28)は根っから、めげない。性格の持ち主だ。未明の東京・築地市場、売り手と買い手でこつた返す中、「五島ブリをよろしく」と

「長靴姿で走り回る。」

永田さんは長崎県五島列島の出身。水産会社を営む父が養殖したブリを、

料理や全国のスーパーに売り込む営業の責任者だ。今は寝てもブリ、覚めてもブリの毎日だが名古屋市の女子大を卒業したころは、ブリと心中するつもりはなかった。卒業後、彼女は東京の銀行に勤めた。

転機は東京生活の小さな違和感から訪れた。居酒屋で食べた魚の味になじまなかった。その気持ちが父のブリなら都会でも絶対売れるという確信に変わる。よし私が、三年前、銀行員生活を切り上げ首都圏での営業に乗り出した。実家が水産会社とはい

え、専門知識はない。そこで早朝の築地に通い詰める。水産用語を耳学問で

学ぶとともに、スーパーや料亭に飛び込みでブリの売り込みを始めたのだ。一方で習い、一方で売るわけだから楽ではない。めげない性格と、若さが武器だ。

マーケティングも工夫した。それまでの五島産の無名のブリを、「五島ブリ」と名付けたのだ。「味の源を理解してもらいたい」と、五島列島・福江島の約十キロ沖合にある

養殖場に月一度のペースで定期的に顧客を案内する作戦も始めた。その熱

意が伝わってか、少しずつ販路が拡大。契約先は約二年で五十社あまりに

達した。「五島ブリ」を松阪牛のようなブランドに育てることが目標だ。

水産会社や養殖場の経営、漁船員など、水産業の表舞台で働く女性の数は驚くほど少ない。慣習的に

「富士山めがけて海桜丸を走らせる。こんな気持ちいいことはない」と話す静岡県内に住む中川

幸子さん(33)もその一人だ。三年前に退職金をつぎ込んで漁船を買い取り、

現在は沖釣りの遊漁船として運航。自ら船長としてかじを取る。

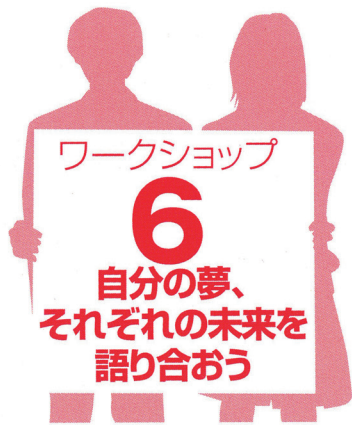
船長を志したのは、七年ほど前に出かけた船釣りりがきっかけ。すぐ毎週末出かけるほどのめり込んだ。女性が船長をやってもいいんじゃないか」

「海は毎日顔が違うし急に不機嫌にもなる」。釣り客、そして海を相手に神経を張りつめた後のストレス解消策は、またまた海相手の「釣り」だった。

二、三年で船舶免許や漁船に欠かせない無線資格を取り、操船や釣り場

## 海が舞台人生こぎだす





●新聞記事も参考に、自分のことを見つめ、将来について整理し、クラスメートとお互いの「夢」を語り合きましょう。

◆STEP-1 まず、これまでの自分の良いところを見つめましょう。

1	自分の良いところ	
2	ほめられたこと	
3	うれしかったこと	

◆STEP-2 自分が進もうとしている方向を整理しましょう。

1	進みたい方向	
2	そのためには、 どんなことをすればよいのか	

◆STEP-3 『私の夢』という作文を書いてみましょう。

.....

.....

.....

◆STEP-4 みんなの作文をもとにお互いの「夢」を語り合しましょう。

.....

.....

.....

## まとめ

長い人生の中で、皆さん中学生は、進路選択という岐路に立っています。その時、進路選択を考える最初のステップは、「自分の良いところ」や「進みたい方向」「夢」を知ることから始まります。次のステップは、皆さんの周りの身近な人々やこの副読本に登場した先輩、あこがれの人などの進路選択に学ぶことが大切です。

自分の将来や未来を切り拓いていくのはあなた自身です。